

23年度の主な改善点

外部への発信

ホームページの充実（動画含む）

ホームページで発表会当日の冊子や取組内容を配信するとともに、発表会当日の動画も配信する。それにより、県民や企業などに情報提供するとともに、取組の成果・果実を伝えていく。

希望される県民の方々の参加（事前申込制）

希望される県民の方々にも率先実行発表大賞会を会場で見えていただき、県の取組の成果・果実を伝えていく。

全国知事会への情報提供

全国知事会HPの「先進政策バンク」にすぐれた取組を掲載し、全国の改善活動に興味がある自治体、企業などに事例を提供する。

大賞への応募、発表会への参画を推進する工夫

奨励賞の創設

率先実行大賞に選定された取組(8取組)を除く、ベスト30の取組を奨励賞として表彰し、それらの取組にも光を当てるとともに優良事例として情報共有ができるようにする。また、新たな賞の創設により、応募意欲を高める。

全国都市改善改革実践事例発表会での発表

率先実行大賞発表会のグランプリを受賞したグループは、全国都市改善改革実践事例発表会（平成24年3月に大分市で開催）で本県の代表取組として発表することを募集要領に明記し、応募意欲を高める。

募集対象取組の表記の改善

募集対象の取組例をわかりやすく、具体的に記載することで、職員が応募しやすくなるようにする。

テレビ会議システムの活用

各庁舎でテレビ会議システムを使用することで、多くの職員が参画しやすくなるようにする。

改善事例の活用

応募フォーマットの改善

詳細欄を「目的と経緯」「現状と課題」「取組内容」「取り組むにあたり工夫した点」「成果」「今後の定着・発展に向けた工夫」「アピールポイント」の7つに区分することで、他所属が参考にする際に、改善プロセスが明確になるようにする。

1組当たりの発表時間の延長

「優良事例として情報共有するためには発表時間が足りない」という声が発表者側、参加者側の双方からあるため、率先実行大賞の数を減らし（10取組 8取組）、1組当たりの発表時間を延長（10分間 13分間）する。